

日本農業工学会第138回理事会議事録

日 時：平成24年10月22日（木） 15：00～17：00
場 所：東京大学農学部7号館7階会議室

出席者：大政会長
村瀬副会長
岸田理事、大下理事、田川理事、野口理事、東城理事、町田理事、石田監事、
三澤監事
欠席者：中副会長、奥島理事

I. 議事録確認

第137回理事会議事録が承認された

II. 協議事項

1. 監事の交代について
柴田芳郎監事の辞任が承認された。後任の監事に農業電化協会事務局長の三澤俊哉氏が承認された。任期は柴田監事の残任期間（平成24年10月～平成27年5月）とし、次回総会で追認を得ることとした。
2. 第29回シンポジウムについて
幹事学会の日本農作業研究会東城理事よりシンポジウムテーマの説明があり了承された。
「次世代につなぐ生物生産—激化する国際競争下での新たな農作業システムの展開」、なお事務局から29回シンポジウム開催に関する作業スケジュールの説明があり了承された（資料3）
3. 平成24年度フェローの推薦について
事務局より各学会からのフェロー推薦枠に関する説明があり了承された。フェロー選考規則が現状にそぐわない点があり、規則改正の意見があった。
（規則第3条2項）
4. CIGR 分担金について
野口理事より各国のCIGR分担金についての資料が配布され、内容の説明がなされた。日本学術会議との連名の点、将来負担の問題など意見交換がなされ、継続審議となった。
5. 30周年記念事業について
町田事務局長から25周年記念冊子の目次が配布され、30周年冊子の作成構想が説明された。また記念シンポジウムに関する意見交換がなされ継続審議となった。
6. その他 なし

III. その他

次回予定（139回理事会）

平成25年 1月 8日（火）16：00～
場所：東京大学農学部7号館7階会議室